

編輯室より

同人

大林 吉太 高武 辻中 中成 梅野 山鴻 香齋 祐森
 西永 幸施 智安 野瀨 本間 池西 藤田 善二
 秀重 孝重 鐵吸 太太 無重 光修 幸二 雄郎
 雄孝 門江 二郎 一郎 極信 辰二 武精 郎雄

◇…文楽座が七月の東上を機会に情報局國民演劇に初の参加をすることになった。狂言は別項の通り、古靱、清六、榮三、文五郎の「阿崎」を中心に「伊賀越」を出す。傳統の古典藝術の爲めに萬丈の氣を吐いて貰ひ度いものだ。

◇…因協會の第六回若手技藝獎勵會が既報の通り去る五月廿七日開催、前回に劣らぬ盛會であつた。本誌同人の選衡による「蟻洞賞」は豊澤仙三郎君に授與することに決定した。その他の若手の人々にも前途囑望するに足る藝の所有者も尠しとせぬ、今後の精進を希望する。

◇…文樂の晝夜二部制も六月興行で既に六回になる、二部制の主唱者、大塚學藝部の山口廣一氏にお願ひして今日迄の企劃の批判と今後の進むべき途を明示して頂いた。秋葉芳美氏の「淨瑠璃雜考」も回を重ねて三回になる。その豊富な資料によつて、各方面から御好評を賜つてゐる。機會を見て演劇雜考を頂戴する御約束を頂いた。兩氏の御好意に對し誌上を借りて感謝する。

淨瑠璃雜誌 第四百二十號

(昭和十八年 六月號)
 (毎月一回二十日發行)

●本誌定価
 一 部 金五十錢 (送料四錢)
 二 部 金三十錢 (送料四錢)
 三 部 金二十錢 (送料四錢)
 四 部 金十錢 (送料四錢)
 五 部 金十錢 (送料四錢)
 六 部 金十錢 (送料四錢)
 七 部 金十錢 (送料四錢)
 八 部 金十錢 (送料四錢)
 九 部 金十錢 (送料四錢)
 十部 金十錢 (送料四錢)

○御注文は一切前金の事
 ○雜誌發送を以て領收證に代ゆ
 ○外國送りは一冊に付郵税十錢を要す
 ○廣告は浪花名物淨瑠璃雜誌社。
 ○座穴阪二三九二八番

廣告料

普通 一行 金三十錢
 一等 一行 金二十錢
 二等 一行 金十錢
 三等 一行 金十錢

○特等は一頁以下の需に應ぜず六回以上の特約には割引す
 ○製版を要する時は其實費を申受く
 ○廣告料は總て前金の事
 ○一行九ポイント活字

發行所 淨瑠璃雜誌社
 大阪府西成區本庄二ノ三二
 編輯人 樋口虎之助
 印刷所 坂口秀吉
 大阪府西成區江戶町下通四ノ三〇
 印刷所 高尾印刷所
 大阪府西成區江戶町下通四ノ三〇
 發行所 淨瑠璃雜誌社
 大阪府西成區本庄二ノ三二 (西大 第四九〇)